



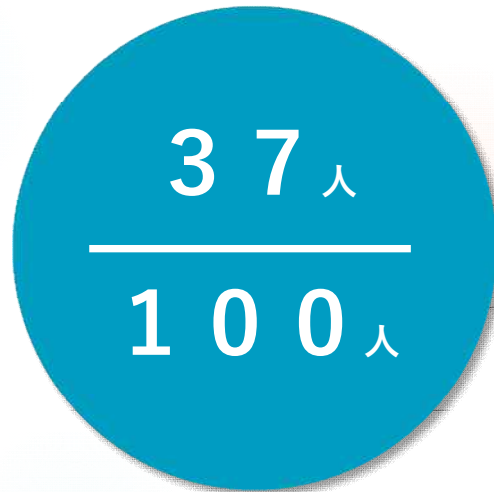
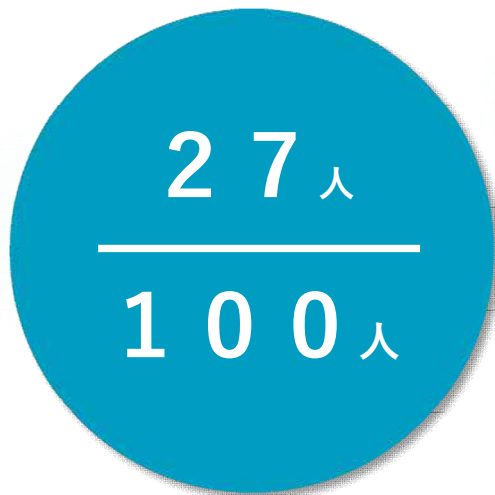
「うちあけダイヤル」へのアクセス数UP

(令和6年度「静岡県庁広報グランプリ」最終審査会資料)

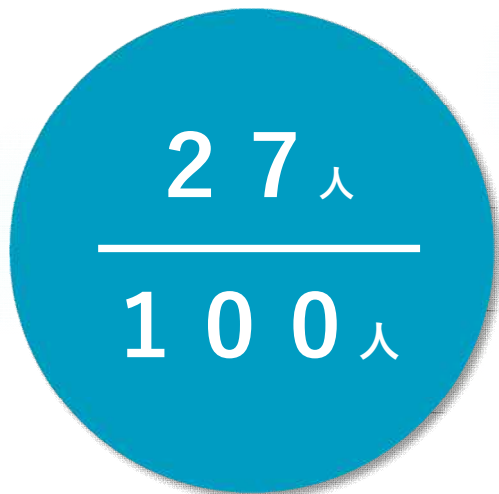
令和7年1月24日

健康福祉部障害者支援局障害福祉課精神保健福祉班

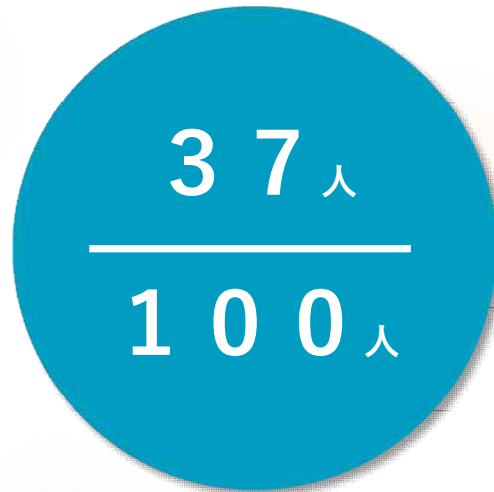
何の数字かわかりますか？



【答え】自殺したいと思ったことがある人



全世代平均



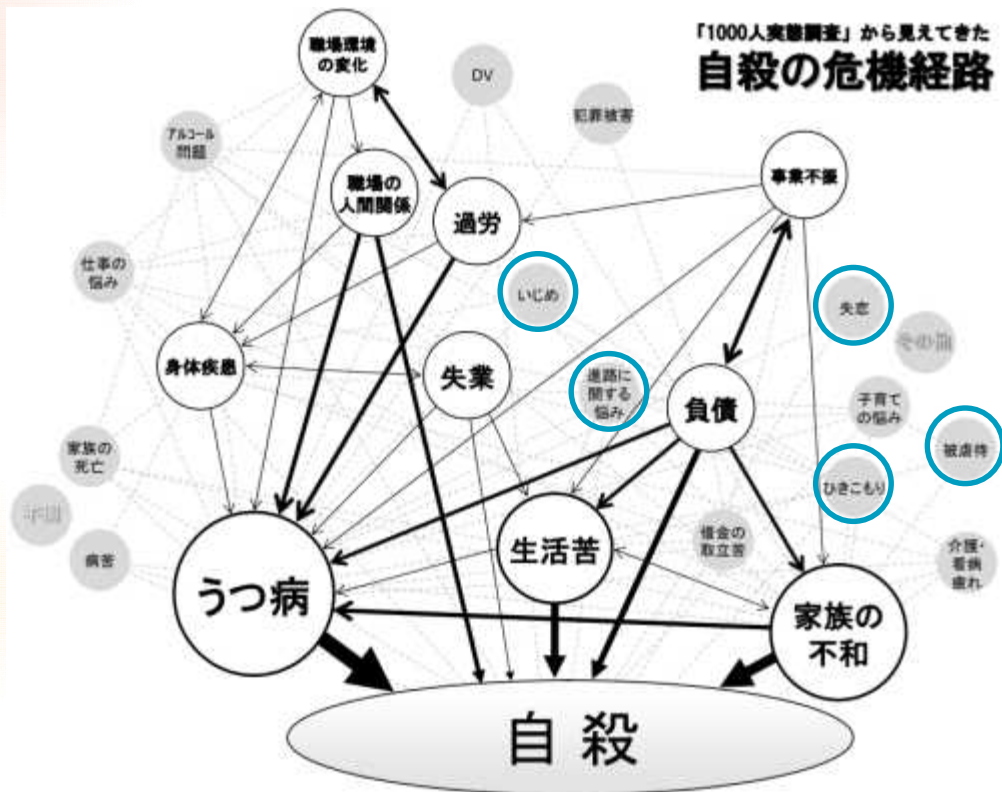
20代

令和3年度自殺対策に関する意識調査（厚生労働省）
調査対象：18歳以上の日本国籍を有する者4,000人（有効回答率50.2%）

こども・若者の自殺防止に向けた対策（現状と課題）

- ・ 小中高生の自殺者数が近年増加傾向。
- ・ 令和4年は全国で514人と過去最多。
令和5年も513人と同水準。
- ・ 課題は こども・若者は
「助けて」といいたしにくい。ということ

自殺の原因



【学生】の自殺危機経路

- ①いじめ
→学業不振+学内の人間関係(教師と)
→進路の悩み
→自殺
- ②親子間の不和
→ひきこもり
→うつ病
→将来生活への不安
→自殺

当事者だけで問題を抱え込み
自殺のリスクが高まっている可能性がある

↓
家族や友達にも相談できない悩みを
相談できる場所が必要

なんとかしなければ！「伝わらなければ意味がない」

ゴール

- ・ 若者に「うちあげられる場所がある」と伝えたい
- ・ SOSを出して欲しい

手段

- ・ SNS ・デジタルサイネージ

狙い

- ・ WEB誘導・行動変容・拡散は求めてません

いつ

- ・ さりげなく、継続

課題抽出

- ・ 客観的データで効果測定できるか
- ・ 改善点はあるか

これまでの方法を
5つのステップで
見直してみました



うちあけられる場所：静岡県うちあけダイヤル

県が運営するHPで、LINEや電話等の各種相談窓口や、ゲートキーパーの啓発動画などを掲載しています。

(<https://www.pref.shizuoka.jp/area/2022/>)



LINE相談

うちあけダイヤルではLINEアプリによる相談を下記日時限定で行っています。

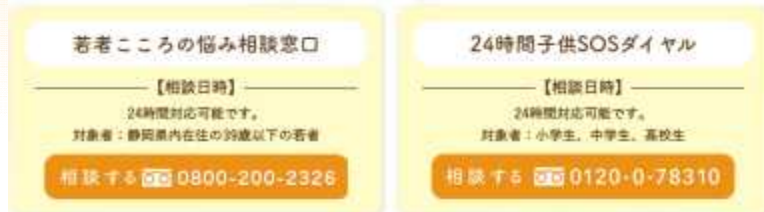
【相談日時】

平日：14時～22時
土日祝日：14時～21時

対象者：静岡県内在住の39歳以下の若者



相談する  友だち追加




若者こころの悩み相談窓口

【相談日時】

24時間対応可能です。

対象者：静岡県内在住の39歳以下の若者


相談する  0800-200-2326

24時間子供SOSダイヤル

【相談日時】

24時間対応可能です。

対象者：小学生、中学生、高校生

相談する  0120-0-78310

悩み相談窓口の情報



酒井様は
竹千代様の様子の
変化に気づきましたね 
それが、ゲートキーパーの
第一歩「気づき」です。



ゲートキーパーとして
ご自分の気持ちを
しっかりと
伝えてください。



ゲートキーパーの啓発動画

【取組】Web広告媒体の変更

R5: Tver・**Youtube** ⇒ R6: Tver・**TikTok**

うちあけダイヤルを動画広告する配信媒体を、従来のYoutubeから若者利用率が高いTikTokに変更

Youtube

コンテンツ種類やジャンルが豊富
ユーザーの年代が幅広い

R05	全世代	87.8%
	10代	94.3%



TikTok

短時間の動画が、
手軽に多くの動画が視聴できる
若者に人気

R05	全世代	47.9%
	10代	70.0%

「おすすめ」フィードの存在で
数多くのユーザーに表示される
〈プッシュ型〉

さりげなく 大学のデジタルサイネージを活用

静岡大学のラウンジや常葉大学の学生ホールにデジタルサイネージで広報動画を放映

※9月～3月の毎日放映 ← 継続



大学のデジタルサイネージを活用した広報

今の大学生は
コロナ渦で人と直接会って
コミュニケーションをとる機会が少ない
中高生時代を過ごしています。

他人に相談を打ち明けるきっかけを持ってない中
「人に知られたくない」「今すぐ相談したい」
「だけど対面は苦手」といった時に
SNSによる相談であれば、という学生は
少なからずいると想定しています。

そういった意味で大学側としても
連携をとる意義があると思っています。



大学職員の声

さりげなくではないかもしれませんが

各駅やドラッグストアのデジタルサイネージを活用

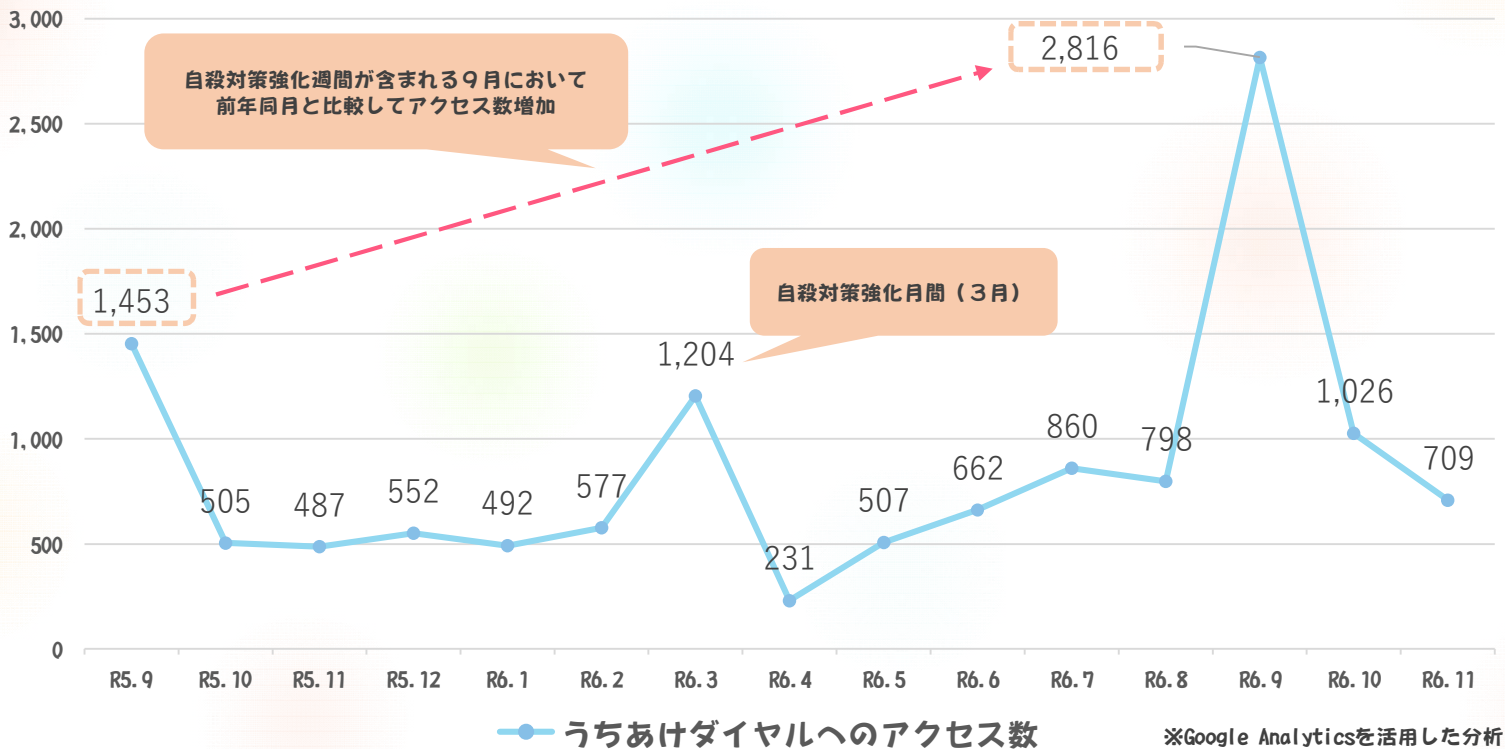
人目につきやすい各駅（JR静岡駅、静岡鉄道、伊豆箱根鉄道、遠州鉄道）のサイネージや

悩んでいる方が多く訪れるドラッグストア（杏林道業局）のサイネージを利用した動画広告

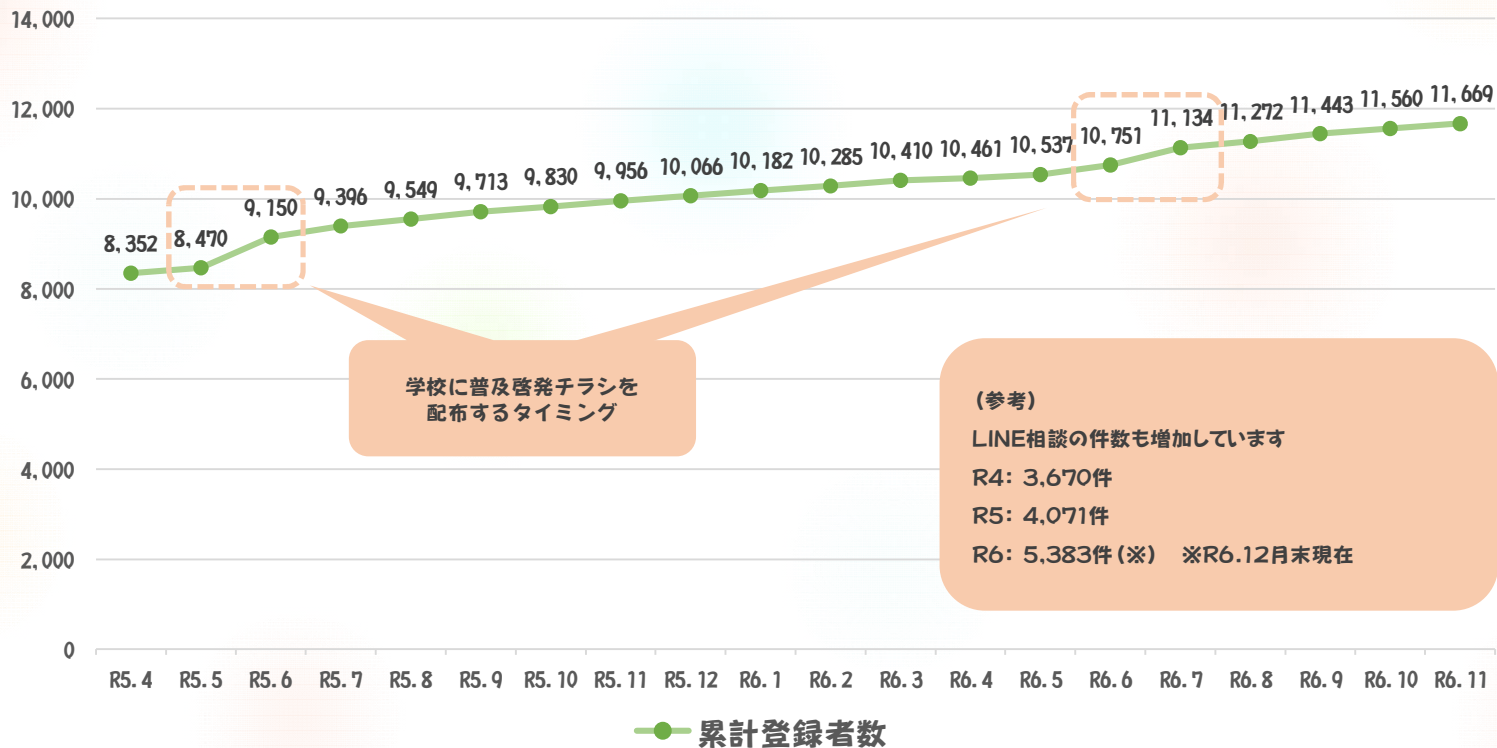


静岡駅のパルシェビジョン

課題抽出 うちあけダイヤルへのアクセス数の変化



(参考) LINE相談用アカウント 累計登録者数



若者に「うちあけられる場所がある」と伝えたい
⇒アクセス数アップはしましたが、、、

○担当者の悩み

- ・自殺対策そのものの効果測定が難しい

アクセス数が増える⇒生きづらさを抱えている人が多い証拠？

- ・LINE相談数の増加＝自殺数の減少 とは言えない

ですが、、、

- ・今後も広報ターゲットのニーズを掴み、最適な広告媒体を選択

「さりげなく」「必要な人に届く」ことを目指します